

1 学期終業式

倉敷市立西中学校 松本一郎

現在、新型コロナウイルス感染症流行の第二波ともいえるべき状況が、全国に広がりつつあります。昨日も、全国で1300人を超える感染者が確認されました。私たちは、手洗い・ソーシャルディスタンスなどの新しい生活様式を意識して生活しなければなりません。

その中で、「友達が新型コロナウイルス感染症に感染したら、みんなは何と声をかけますか？」今の感染の状況では、だれにも、感染のリスクはあります。ウイルスは人を選ばず。そこにあれば感染する可能性があります。どうか、病気でつらい思いをしている人を、傷つけたり、悲しませたりするようなことがないように、ぜひ、みなさんをお願いしたいと思います。優しさナンバーワンの西中の皆さんが、優しさや思いやりを発揮するときは、仲間がピンチになった時こそです。

さて、みなさんの1学期の生活を振り返ってみると、4月から臨時休業や分散登校が続き、部活動も十分にできませんでした。大きく学校生活が制限されるなかで、6月からは、遅れた授業を取り戻すために、毎日、7時間の授業を、みなさんは本当によく頑張りました。1年生2年生も頑張りましたが、特に、3年生の皆さんの授業態度は、すばらしかったと廊下から見て思っていました。

先生方もマスクを着けて一生懸命授業に臨みました。みなさんの負担を少しでも楽にして、学習の効率を上げるために、プリントや宿題を工夫してくれました。みなさんは、よく学習の意義を理解し、先生方の指導についていき、大きな成果を挙げてくれたと思います。

また、少しでも土曜授業を盛り上げようと生徒会は、エンジョイサタデーを企画してくれました。マスクコンテスト、感謝の手紙、また、NBMWカードという友達や先生のよいところを見つけて書くカードなど、他の学校では聞いたこともない、西中が盛り上がるための企画を次々と立ち上げてくれました。これらの企画に、生徒の皆さんが積極的に参加してくれることで、倉敷ナンバーワンの西中は、どんどんその輝きを増すと期待しています。

3年生の皆さんを中心に、明日から備南東地区大会がスタートします。競技が開催できない部員の気持ちも含めて、参加できる皆さんは、正々堂々と西中らしく、最後まで全力を発揮して、戦ってほしいと思います。

例年と比べて、短い夏休みとはなりますが、普通の一日一日に感謝し、みなさんのよいところがさらに磨かれ、笑顔で2学期の始業式を迎えられることを楽しみにしています。